

PEACE BOAT Voyage 117



My travel record

SUMIKO SAITHO

パシフィック・ワールド号 フロアマップ

パシフィック・ワールド号

- 就航年 1995年 (2015年改装)
- 総トン数 77,441トン
- 全長 261.3メートル
- 全幅 32.25メートル
- 乗客定員 2,419名
- 喫水 8.1メートル
- 建造国 イタリア

就航年

2015年

総トン数

77,441 トン

全長 261.3 m

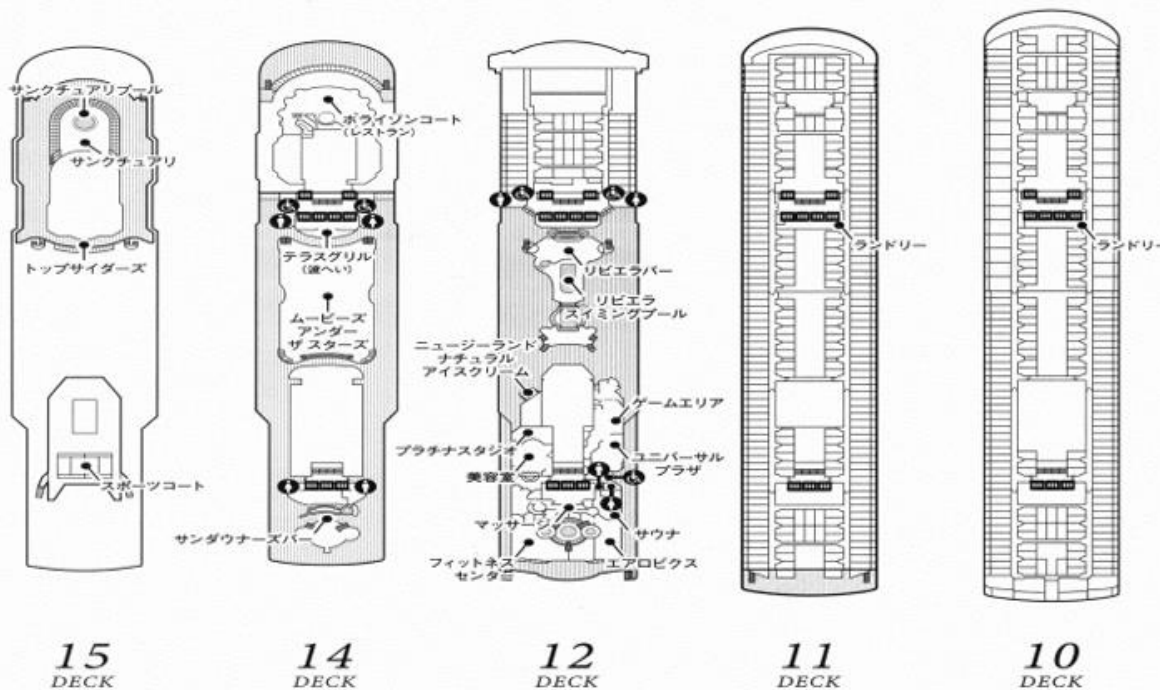
全幅 32.25m

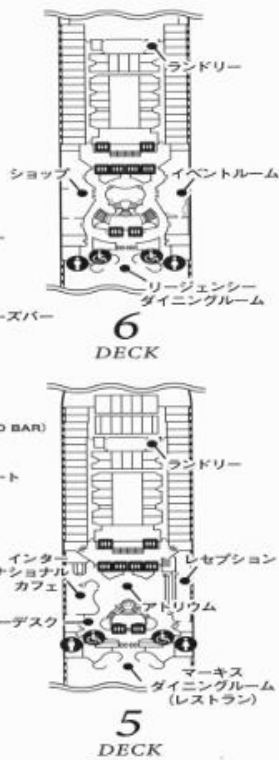
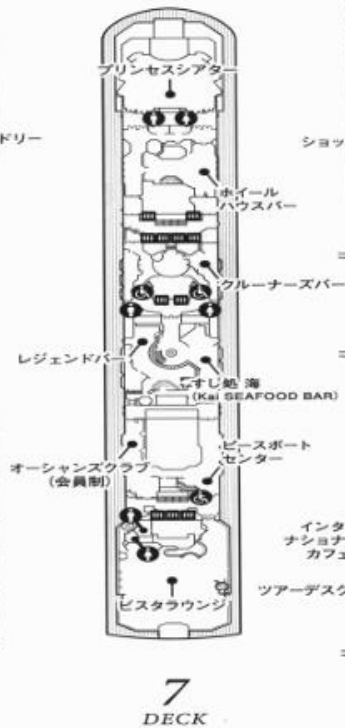
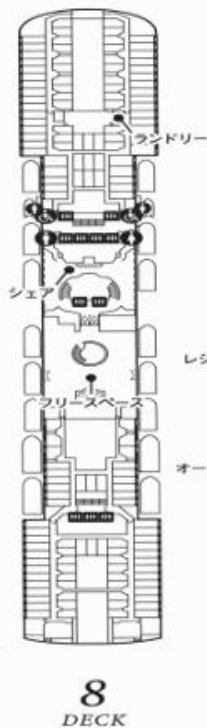
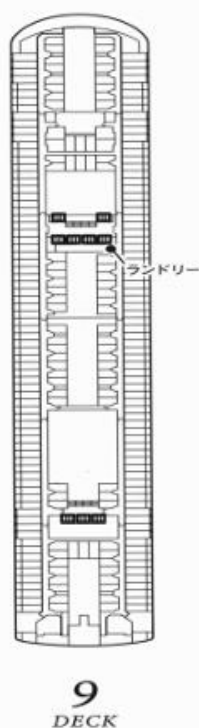
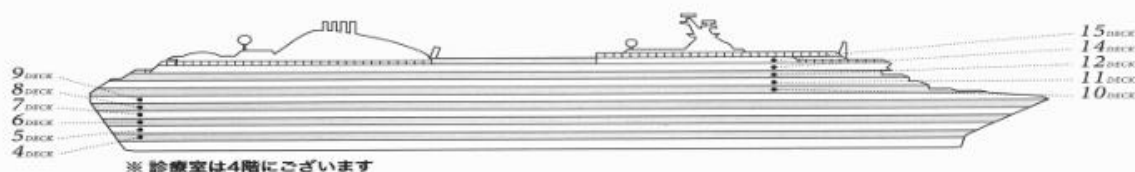
乗客定員

2,419名

建造国

イタリア





医務室は4Fで私は5Fでした。

窓側でしたが、比較的下の方で窓は時に海水がかかりやすかったです。

パーティー会場やみんなが憩えるソファがいっぱいあったりレストランや生演奏も殆ど毎日この5Fでありました。



当初の計画ではスエズ運河を通りヨーロッパに抜ける予定でしたが中東の政情不安のためアフリカ周りに変更になりました。このため、キャンセルもされた方もいるとか??

1st.May.

Seychelles Botanical garden



地図でも探しにくいポートビクトリア・セシール
ここはアフリカ大陸のマダカスカルの北にある小さい国。この国立植物園で見たゾウガメ。
大きさとフレンドリーなカメに驚きました。



5.11

ケープタウン

海の方を見るとゆらゆら揺らめいて見えていました。周りの人に聞くとわかめじゃない？

私もなんとなくそんな気がしていました。

ズームで覗くと海鵜とイルカ！

人の目も自分の目もいい加減なものだ。後で大笑い！

ナミビア



ピースボートは以前からいわゆる観光旅行でなく、平和や貧困などにも目を向けた取り組みをしていて、学校等へ学用品やボールを届ける活動もやっています。この日はネイティブアフリカ人の村を訪ね交流をしました。ナミビアはアフリカの南西部にあり、主な産業は漁業、観光、ウラン等鉱物。決して豊かな国とは言えない。



ネルソンマンデラがアパルトヘイトに身を投じているころ、大阪に歌舞団が来てみに行った記憶があります。この時も黒人のパワーとリズム感に圧巻でした。奴隷船や白人に踏み躪られた歴史を耐え抜いたパワーと力強さえお感じています。ガイドさんも熱っぽくナミビアを語る！「身内に失業者が出ればみんなで応援します。この国の人は優しいのです。だから、だれも出ないんです。僕もこの国が好きです。僕もここをうごきません。今度みなさんは船でなく飛行機で来てください。僕はここにいます」私は、自分の国をこんなに誇れるだろうか？

2024.5.15



自由行動で写真を撮ろうとして。「カメラ忘れた!」「どこで?」「文化センターのトイレ?」「ないと言ってる」「じゃあ。バスの中?」ガイドさんは私と一緒にバスまで「あ!あった!! ありがとう!!」と記念写真! この前後、この若者に会い「いくつ?」「17.18。あなたは?」「79歳」「amazing!!」この国へ平均寿命は60歳ぐらい!

アイスランドのレイキャビク



ここがアイスランド？ダウンをご用意下さいと暖かかったレイキャビク。遠くの山は雪があるけれどまるで信州みたい！ガイドさんは今年は熱波が来ていて暖かいんですと・・・。



アイスランドのシンヴェトリル国立公園。北米プレートとユーラシアプレイトの間を歩いた！日本のプレートは4、5つもあるのにみんな海な中。プレートの境目を歩くってすごーいと思って歩いていくを大きな綺麗な滝にまた驚きました。

この船のクライマックスはフィヨルド観光だと思います。



何万年もの時をかけて降り積もった雪が溶けずに固まり氷に変化し氷河です。この氷河が山の斜面を地面を削とり、滑り落ち、深い谷を形成しました。氷河期の終わり頃（約12000-15000年前）海面が上がり、できたのがフィヨルドです。断崖絶壁のような景観や雪や氷河を携えた静かな谷間のフィヨルドの美しさは圧巻でした。この船の乗って良かった！！と思った時でした。



温暖化の影響は深刻でこの氷河がどんどん溶けています。この旅行でも氷河ハイキングは当日になって、中止！イメージとかけ離れた景観になっている。ということでキャンセル料も返金されました。

また、グランドキャニオンへ行った友達は「私たちの飛行機は行けたけれど、熱波で飛ばない飛行機も出たみたい。」と話していました。

北極では毎秒1万トンの氷が溶けていると言われていています。産業革命以来0.7度気温が上昇しているが北極では、7倍の5度上昇しているそうです。（気象研究者）温暖化の原因のCO2の増加は速く手を打たないともう戻れなくなるそうです。排出国 一番はアメリカ。人口比で見ても日本も責任重大だと感じました。



船内様子 ウェルカムパーティー



この日は12階のプールサイドでビールが飲める日
気のあったもの同士が「それいけ！」と集まりっピア
パーティー。楽しいひと時でした。



7階デッキ。ここは周り外周できて歩く人
写真を撮る人様々。私はここで午前3周、午後3周と船内移動で1日
2万歩はキープできました。



この日のオプションツアーは「ランチは現地で食べてください。ハンバーグ定食など。3000-5000円ご用意下さい」と。それは高いので、食堂でお弁当を詰めてるところ。



左の彼と右の彼女ともう1人の男性でよく自分たちの報告やレクチャの準備を助け合う仲間でした。「放射能汚染」「戦争責任」「沖縄基地問題」「地域、老人会」4人の報告や発表後は4人で乾杯もしました。





船内の様子





ソフトクリームが1000円 6\$+tax 水500ml 5\$+tax
アメリカだけでなくアイスランドでもカナダでもどこでも高い
というのが実感！ 帰ってから日本で食べよう、買おう！とい
うのが合言葉になるくらいでした。

数十年前に来たときはニューヨークは危険な街でした。そして
ホームレスの姿はほとんどみられず、独り歩きも危険は感じな
かったです。

船内で機会があり、米国株入門という株関係の本を2冊読みま
した。ここには成長するアメリカが書かれていました。（'22年
9.25)世界のGDP (96.1兆\$) の1/4がアメリカ (22.99兆\$) 1位
2位は中国。日本はアメリカの1/4。アメリカのGDPの7割が個人
消費。日本の個人消費は5割。

世界の上位企業（時価総額で）10位の中で3位にサウジアラビ
アが入るが後は全てアメリカ企業。若い企業が多く。お金だけで
なく、優秀な頭脳も集まるという。研究開発にもお金と使いとい
います。また、移民政策も功を奏して、労働力、購買力に拍車を
かけている。Taxも日本では一律10%だが、

日本では失われた30年といいいますが、衰退の30年では？
これに比べてアメリカは成長の30年だなと感じました。

アメリカの権力主義？等で好き国ではありません。日本対して
も基地問題や防衛費問題どうでは・・・でもアメリカ国家は成
長が見てとれます。日本は何を？？ つくづく考えました。

PEACE BOAT Voyage 117-2



My travel record

SUMIKO SAITHO



105日間の船旅は18ヶ国と21の寄港地を訪問しました。

また、東シナ海・南シナ海・マラッカ海峡・インド洋・モザンビーク海峡・南大西洋・ビスケー湾・イギリス海峡・北海・ソグネフィヨルド・ノールフィヨルド・北大西洋・バミューダトライアングル・カリブ海・パナマ運河・トレシアム・ハバード氷河・カレッジフィヨルド・アラスカ湾北太平洋を航行し総全長距離 32,094(海里) 59,438Kmを航海しました。(ピースポート資料より)

海からの日の出、日の入りを撮ろうと思っても、なかなかチャンスはありません。今日は夕陽が綺麗とあわててカメラを持ち出すのですが。雲が出てきたり・・・この日は。タイミングよくどこかの国の船舶が通りかかり、シャッターを。

時化や嵐の時、船は少々揺れましたが、こんなに大きな船はひっくり返ることはないと思ってましたし。また、船内でも大型船の運行や仕組み等、2回程度レクチャもありました。日頃聞くことのないもので、とても感銘したのですが・・・きちんとメモをとってなくて残念！！



船内では

左上は私が105日間過ごしたお部屋です。

テレビは船内テレビだけです。ネットもなく、部屋に帰れば寝るだけ。鏡付きの小さい机は助かりました。

その下の写真は屋上で開かれた運動会です。誕生月で5チームに色分けされ、応援だんも作り持ち上がっていました。この様な催しもいくつか用意されていました。

船内ではダンスやヨガ、ラジを体操、ベリーダンスなどの他、教室的なものもありました。

例えば、玉すだれ・毛筆・水彩画・墨絵・切り絵・英語・中国語・スペイン語・後、自主企画でレクチャーや報告の様なものをありました。

私は自主企画でシニア松塚の報告をパワーポイントで45分の紹介をしました。

後は私が参加した水墨画と切り絵の作品です。講座では発表会もありました。牡丹の絵は先生から頂いたもの。綺麗なもので。

ストーンヘンジ



イギリスのロンドンからバスで南へ2時間半行くと丘陵地帯に突然現れた巨石建造物。

これが紀元前3000-1500年頃作られた世界文化遺産です。この石はウェールズ地方（25kmほど離れたところから運んだらしい。

古代天文観測に使われていたとか？儀式に使われていた？まだまだ謎は深い様です。



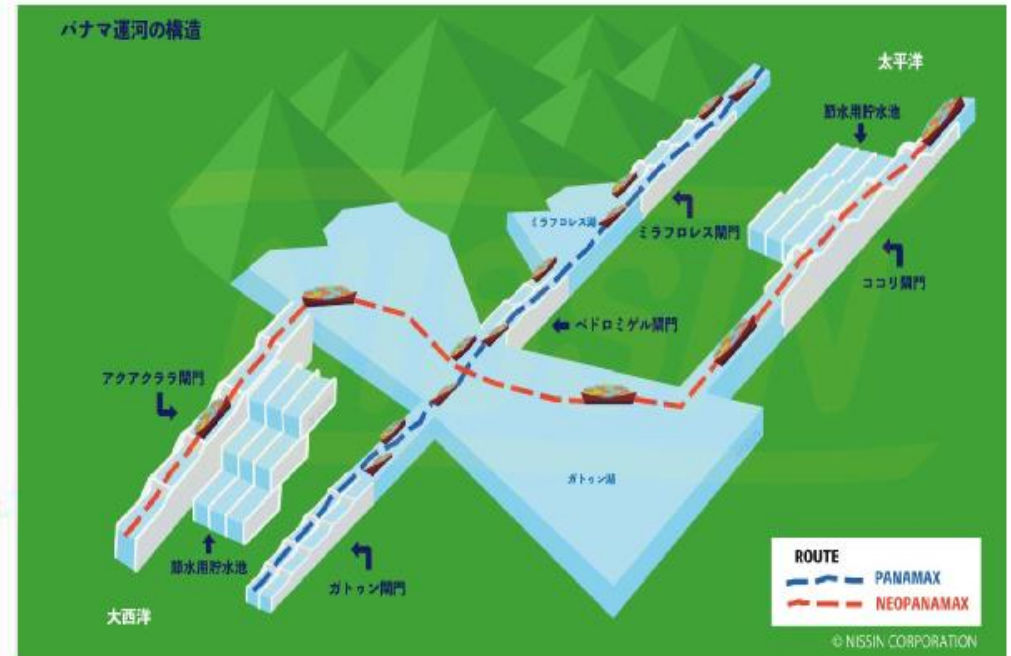
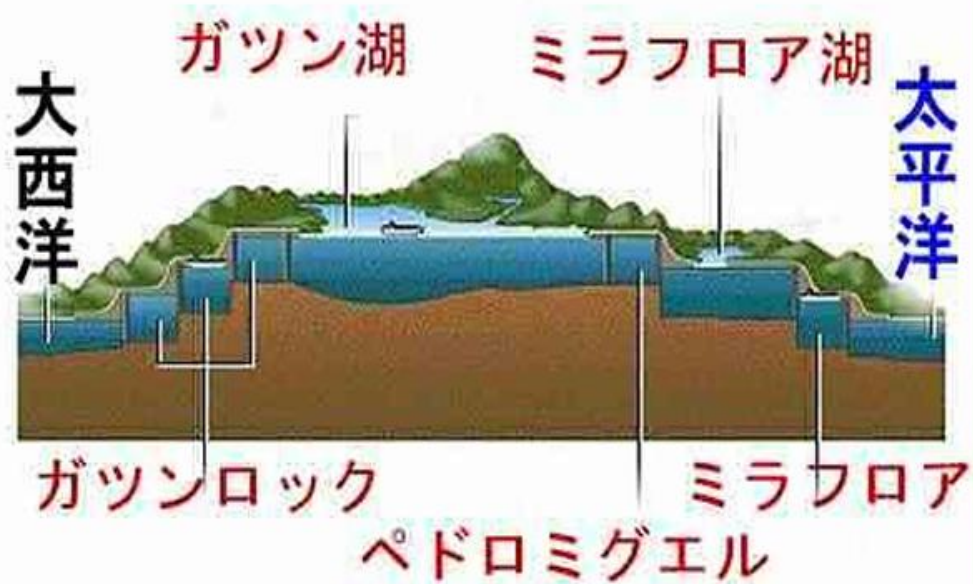
ストーンヘンジの石は上の上の様に運びました。これは大阪城の石（多くは小豆島等、中には古墳や墓石まで）を運んだ方法と同じです。日本では、これを修羅といいます。大勢の人で引っ張り、下の丸太を移動させました。修羅場という言葉にも納得です。古代人の考える事はどこも同じなのにビックリと感激で、なんだか嬉しくいになりました

パナマ運河



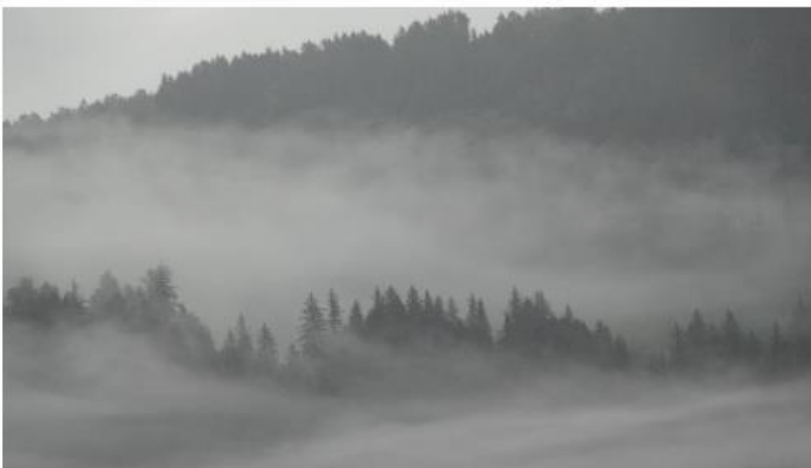
6月26日は1日パナマ運河に1日を費やしました。スエズ運河と違いパナマ運河は26メートルの高いところを通過するため水のエレベーターを作る必要があったそうです。それで人工湖のガツン湖地作り、（水を貯蔵する）エレベーター（閘門ーコウモン）作り、船を上げたり下げたりしながら運河を通過しています。でも、近年雨が少なくこのままではガツン湖の水がたまらず運河は使えなくなるそうです。ここにも異常気象の影響が出てきそうです。私たちの生活にも影響が大きいです。

パナマ運河の仕組み



パナマ運河の仕組みは言葉で言うより上の図を見ていただく方がよくわかると思います。百聞は一見にしかずです。このガツン湖は人工湖で人類の知恵と言うべきものかも？

7月16日アラスカのソードのキーナイ・フィヨルドクルーズでラッコも見ました



ここでも鯨やシャチ、イルカも見れました。ガスが出てくると水墨画の世界です。これもうっとりするくらい神秘的でした。



写真から

105日も行っていると
写真は整理できない
くらいあります。
その中から

右上の写真はアラスカです。
気に入りの1枚です。

横はアラスカのケチカンで
す。小さい町ですが、鮭が登
ってくるきれいな川もあり、
トーテムのミュージアムもあ
りました。鮭は缶詰を買っ
てきました。



下の左はコスタリカのスカイ
ウォークハイキング。1時間半
くらい吊り橋中心の森林浴。
この日は残難なことに雨でした。
コスタリカは貧しい国ですが、
軍隊と持たない国で有名です。
軍隊を持たない分、教育費は
無償電気は水力発電、風力、
地熱、でほぼ100%かなまかな
えてるという。



上の写真はノルウエーのクロム鉄道の乗った時写真です。わずか20Kmの短い鉄道ですが、きれいな滝に出てくると、しばらく停車、滝の近くまで歩いて散策。15分で停車。サービス満点！途中の風景も素敵でした。

下の2枚はポルトガルリスボン「王妃が愛した街・帯ドス観光」で歩いたところです。小さい土産物屋さんや雑貨屋さんありました。



レストランから眺めた街の風景です。街の治安も良く有名はチョコレートに入ってみました。お店でトイレ聞きました。お店の人かと思ったらブラジルからの観光客でした。

私たちは4日かけてきています。と言うので私たちは3ヶ月かけて世界1周で日本から来たと言うとびっくりされていました